

～省力化と品質向上を目指して～

園芸用培土の使用法（基礎知識）

1. 育苗のねらい

(1) 良質苗生産

園芸培土は、良質苗の生産に適した物理性や化学性をもつように製造されているのが特徴です。

適度な保水性と透水性は、苗の健全な根張りに適し、苗の生育に必要な肥料成分・量が配合され、同時に土壤伝染性病害に対する消毒殺菌がされています。

(2) 育苗管理の均一化

園芸培土は品質が均一であり、規格化されているので、育苗管理が標準化され、揃った苗が作れます。

2. 使用方法

(1) 培土の選択

☆培土を選ぶ時は、次の点を確認しましょう。

- ・作物は何か？ → トマト、メロン、スイカ、イチゴ、ネギ、葉菜類等々
- ・育苗する時期は？ → 暑い時期か、寒い時期か
- ・育苗日数は？ → 追肥をするか、しないか？

(暑い時期はかん水量が多く肥料分が抜けやすい。寒い時期は育苗日数が長い。)

(2) ポイント

一般的に果菜類をポットで育苗する場合、窒素成分で150～200mg前後の培土を用いますが、セルの穴数、穴の大きさによって窒素分量が少ないものを選択します。ネギなど育苗日数が長い作物は、窒素成分が高い培土（緩効性肥料を含む培土）を用いたり、後半の生育を見越してマイクロロングトータル（70日）を施すか、生育の状態を見ながら葉面散布を行うこともあります。葉菜類はセル育苗が多いため100mg前後の培土が一般的です。

(ここがポイント!) は種床、ポット、セル育苗?

→どのような育苗方法か、ポットの大きさ、セルの穴数

3. 使用上の注意点

- ・培土は生ものと同じです。直射日光が当る所は避け、早めに使い切るよう勧めましょう。(特に夏場の高温期や製造月日から日数を経た培土は要注意、肥料成分が変化してしまい、クレームが発生する場合があります。)

4. 培土に含まれる主な原料の特徴

(1) ピートモス⇒水苔などの植物が寒冷地の湿地帯で堆積、分解したもの。

- ・保水性、通気性、保肥力が良い。物理性の改良（軟らかくなる）。
- ・糸状菌、バクテリア、害虫、雑草種子の心配が無い。
- ・分解しにくいので効果が持続する。また2次発酵によるガス害などを起こす心配が無い。
- ・肥料効果は無く、強酸性（pH3.5～5.5）のため通常園芸培土では石灰

等で中和されている。

(注意点)：乾かしすぎると、水を弾くので保存中は湿り気に注意する。

(2) バーミキュライト⇒雲母系の鉱物を焼成、膨張させたもので、光沢を帯びた非常に軽い鉱物質の資材。

- ・保水性、通気性が良い。水（重量の約6倍）や養分（特にアンモニアやカリ）を吸着保持し、徐々に放出するため育苗期間中の生育促進に効果がある。

(注意点)：保水性が良いが、吸水するまでにやや時間がかかる。

(3) パーライト⇒真珠岩を粉砕、高温で加熱したもので、多孔質構造。

- ・非常に軽量で主にセル育苗用に用いられる。透水性、保水性、通気性に優れる。主に培土の軽量化、水分調整資材として用いられる。

(注意点)：保肥力、肥料効果はない。

(4) ゼオライト⇒火山灰が海底に堆積、変性した沸石（ゼオライト）を含む凝灰岩の粉末。

- ・カルシウム、マグネシウム、カリウム等を含み、保肥力がある。
- ・かん水による肥料成分の溶脱の大きい土への添加効果がある。

(注意点)：物理性の改良には期待出来ない。

☆主な園芸培土

培土名	含有成分 (%)	容量kg	特 徴	1袋からとれる目安数量
げんきくん 果菜200	チッソ 200 (mg/ℓ) リン酸 3000 (mg/ℓ) 加里 150 (mg/ℓ)	20 (26ℓ)	原土・ピートモスと木質炭を配合造粒	3.5寸鉢で約45～50ヶ
げんきくん ネギ培土	チッソ 600 (mg/ℓ) リン酸 7000 (mg/ℓ) 加里 150 (mg/ℓ)	15 (35ℓ)	原土・ピートモス・木質炭とバーミキュライトを配合	ペーパーポット(220穴)で約6枚 チェーンポット(CP303)で約7枚
西瓜専用培土	チッソ 100 (mg/ℓ) リン酸 600 (mg/ℓ) 加里 100 (mg/ℓ)	20	ヤシガラチップ(顆粒)と土壌・有機物を配合した西瓜専用育苗培土	3.5寸鉢で約50～60鉢程度
与作N8	チッソ 80 (mg/ℓ) りん酸 1500 (mg/ℓ) 加里 150 (mg/ℓ)	12 (約45ℓ)	バーミキュライト・ピートモス・ヤシガラ繊維を主原料として葉菜類のセル育苗に使用。	直接ポット、プラグに均一に入れて使用。JA全農標準規格トレイ200穴で約12枚
与作N15	チッソ 150 (mg/ℓ) りん酸 1500 (mg/ℓ) 加里 150 (mg/ℓ)	12 (約45ℓ)	バーミキュライト・ピートモス・ヤシガラ繊維を主原料として葉菜類のセル育苗に使用。	直接ポット、プラグに均一に入れて使用。JA全農標準規格トレイ200穴で約12枚
与作果菜類専用培土	チッソ 200 (mg/ℓ) りん酸 500 (mg/ℓ) 加里 150 (mg/ℓ)	20 (約40ℓ)	バーミキュライト・ピートモス・ヤシガラ・炭等を主原料にした果菜類及び葉菜類に	セルトレイ、ポット、播種床等の培土として使用。容量約1.7～3.1の128穴セルトレイで約13～23枚
良菜培土 SP200	チッソ 200 (mg/ℓ) リン酸 2500 (mg/ℓ) 加里 200 (mg/ℓ) 苦土 200 (mg/ℓ)	15kg (約25ℓ)	粒粉状、ウリ科・ナス科果菜類やブロッコリー等のポット・セル・ペーパーポット育苗に	3寸鉢：約90鉢、4寸鉢：約40鉢 ペーパーポット72穴：4枚、220穴：5枚
苗一番N100	チッソ 100 (mg/ℓ) リン酸 1250 (mg/ℓ) 加里 100 (mg/ℓ) 苦土 100 (mg/ℓ)	8kg (約33ℓ)	粉状、葉菜類・花卉類のセル育苗に適する。移植機対応。根張りが良く、抜き取りやすい軽量培土。	128穴セルトレイ：約10枚 200穴セルトレイ：約13枚
ちば土太郎	チッソ 200 (mg/ℓ) リン酸 1000 (mg/ℓ) 加里 100 (mg/ℓ)	20 (30ℓ)	果菜類のポット育苗用。	9cm丸ポット：93鉢 50穴セルトレイ：5箱
		660 (1000ℓ)	同上。 フレコン出荷。	9cm丸ポット：3100鉢
いちごポット 育苗用培土	チッソ 100 (mg/ℓ) リン酸 700 (mg/ℓ) 加里 100 (mg/ℓ)	15(35ℓ)	鹿沼土、ピートモス、バークが主成分のイチゴ専用培土。	9cmポット：100～110鉢、7cmポット170～180鉢

☆園芸用育苗培土1袋からとれる鉢数早見表

袋の重量	20kg袋			15kg袋		
	3号 9cm (300cc)	3.5号 10.5cm (550cc)	4号 12cm (810cc)	3号 9cm (300cc)	3.5号 10.5cm (550cc)	4号 12cm (810cc)
《培土の容積量》						
1.00	67	36	25	50	27	19
0.95	70	38	26	53	29	20
0.90	73	40	27	56	30	21
0.85	78	43	29	59	32	22
0.80	83	45	31	63	34	23
0.75	89	49	33	67	36	25
0.70	95	52	35	71	39	26
0.65	103	56	38	77	42	29
0.60	111	61	41	83	45	31
0.55	121	66	45	91	50	34
0.50	133	73	49	100	55	37

- ①培土袋の1袋の重量を確認
- ②培土の容積量を確認
- ③使用する鉢(ポット)を確認。重なった所が鉢数(目安)となる。

☆ポットの規格(参考)

サイズ	標準高さ	底径	容量
7.5cm	6.5cm	5.5cm	220cc
9.0cm	7.6cm	6.4cm	360cc
10.5cm	9.0cm	7.5cm	570cc
12.0cm	10.0cm	8.5cm	830cc
15.0cm	12.5cm	10.5cm	1600cc
18.0cm	15.0cm	13.0cm	2900cc

※容量は刷りきり一杯

※1寸:約3cm